

小學校教科讀本卷之一  
修正  
下冊

T1A3  
40E88  
(SA99)



7143  
40588  
8479

修正

寶藏版

小學理科讀本卷之一下冊目次

第二章 動物

第十三	動物類別ノ話	一丁
第十四	最下等動物ノ話	五丁
第十五	多肢動物ノ話	八丁
第十六	軟體動物ノ話	十丁
第十七	多節動物ノ話	十二丁
第十八	無血蟲ノ話	十三丁
第十九	體形變遷ノ話	十七丁
第二十	脊骨動物ノ話	二十丁

目次



修正

第二十一	魚類ノ話	二十二丁
第二十二	蛙族ノ話	二十六丁
第二十三	龜蛇等ノ話	二十八丁
第二十四	鳥類ノ話	三十丁

小學理科讀本卷之一下冊目次終

小學理科讀本卷之一下

佐澤太郎譯述

第二章 動物

第十三 動物類別ノ話

動物トハ人類鳥獸虫魚甲介等總テ生レテ成長  
シ又遂ニ死亡スルモノヲ謂フ

今動物ノ棲ム所ニ從テ之ヲ區別セシカ甚ダ簡  
便ナルニ似レド却テ混雜ヲ極ムベシ鯨オト也  
ハ漢名膾 鮒 蟹 章魚 珊瑚 牡蠣 ナマコ 沙 噴 ナドハ  
胸獸



棲處ニ依  
テ動物ヲ  
區分スル  
時ハ如何  
ナル混雜

皆水中ニ棲ムモノナレド、其體ノ外貌モ、體內ノ  
器械モ、甚ダ異ナリ、又陸上ニ棲ムモノ、中ニテ  
熊。蟻。カ。タ。ツ。ブ。リ。漢名蝸牛。蛇ヲ並ベテ、似ル所アリヤ、  
ト問ハビ、一。笑。シ。テ。退。カ。ン。ノ。ミ。ク。モ。漢名蜘蛛。ト。牛。ト  
ヲ並ベテ、全ク異リト言ハビ、人皆全意セン、又空  
中ヲ飛ブモノ、中ニテ、蠅。螢。蜂。ノ鳥ニ類セザル  
ハ、誰ニテモ知ラン、蝙蝠ハ、膜翼有テ飛ベドモ、卵  
ヲ産マズシテ、ソノ子ハ胎生シ、生後ニハ乳汁ヲ  
哺フ、鳥ト異ナル所、明ナルニアラスヤ、又水陸其  
ニ棲ムモノモアリ、蛙ノ如シ、左レバ、外貌及ビ器



學理科讀本

第一卷下

二

學理科讀本

第一卷下

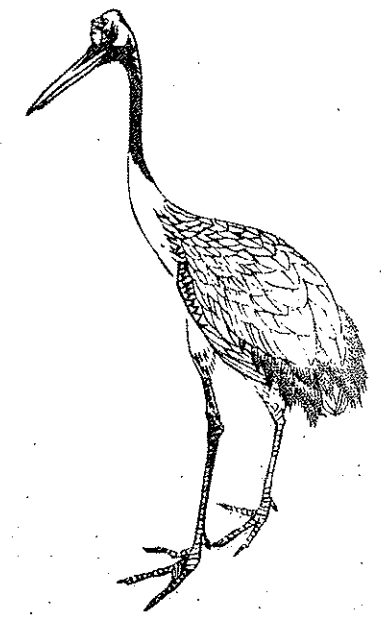


カ  
ヲ生ズル

何ヲカ鳥  
類ト云フ

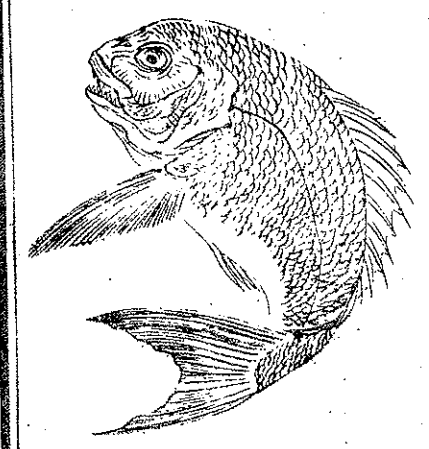
何ヲカ魚  
類ト云フ

小鳥類  
第一卷



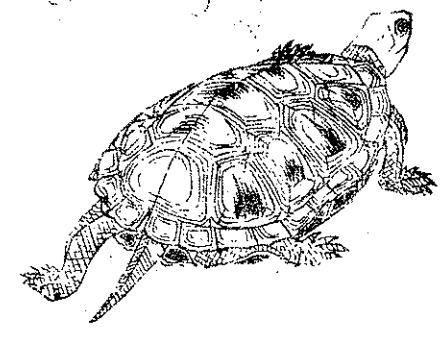
云フ、○鯛ニハ鱗アリ、鱗アリ、水中ニ棲テ、水中ノ空氣ヲ吸フ、此類ノ動物ヲ總稱シテ、魚ト云フ、○蛇ハ、體ヲ地ニ付ケテ爬フ、ヤモリ名漢

械ノ相類スル所ヲ以テ、之ヲ分ツコソ、便利ナラン、  
鶴杯ニハ羽翼アリ、羽翼アルモノヲ鳥類ト



何ヲカ爬  
行類ト云

何ヲカ哺  
乳類ト云



金魚、野猪、燕ヲ並ベテ見ヨ、其全ジキ所ナキハ、問フ迄モナシ、左レド、其皮ヲ剥テ、肉ヲ去レバ、皆屋根ノ如キ骨組有テ

壁虎モ亦殆ト爬テ進ム、斯クノ如ク爬フモノヲ爬行類トス、  
鹿、兔、猫、鼠ノ體ニハ毛アリ、其兒ハ乳ヲ哺テ成長ス、是等ハ總テ哺乳類トス、○鳶ト



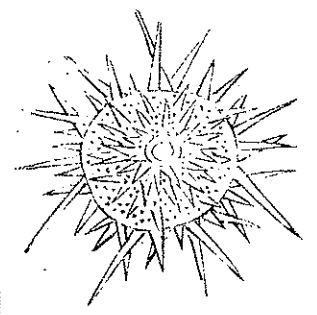
鳥類  
第一卷



何ヲカ脊  
骨動物ト  
云フ

鉸ヲ成ス其重ナル部分ハ脊骨ナリ故ニ哺乳類  
鳥類魚類及ビ爬行類ヲ總稱シテ脊骨動物ト云  
フ即チ上等動物ナリ

手ヲ廣ゲタルガゴトクニ體ノ一部分尖出スル  
モノアリヒトデ漢名海コレナリ雲丹海膽ノ體  
面ニハ針ノ如キモノ有テ之ヲ圍ム其形宛モ栗

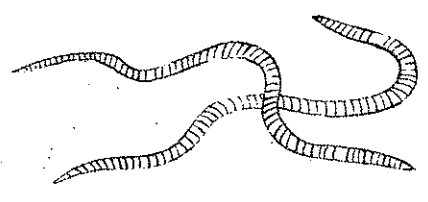


ノ如シ珊瑚蟲ハ多クノ肢ヲ生ズ  
之ヲ多肢動物ト云フ目ノ見ル所  
ノ形ニ依テ斯ク名ヅク  
十メクヲ漢名ハ體ハ圓ク肥テ稍

何ヲカ多  
肢動物ト  
云フ

何ヲカ軟  
體動物ト  
云フ

長ク軟ニテ粘氣アリ足ナク角四本アリ  
嗅感ト觸感トヲ司リ又物ヲ探リ食  
餌ヲ採ル之ヲ感角ト云フ伸縮自在ニ  
テ端ニ黒キ點アリ宛モ目ノ如シサ



工漢名田螺牡蠣等ニハ殼アリ魚ニ  
ハ殼ナシ之ヲ軟體動物ト云フ  
ミハバ漢名ハ圓ク肥テ長ク首尾尖銳  
ナリゴカイ漢名ハ釣魚ノ餌トス故ニ  
亦餌蟲ト名ヅクヒル漢名ハ人體ノ血  
ヲ吸フ海老シヤコ漢名ハ人體ノ血  
蝦蛄ムカデ蜈蚣ニ





何ヲカ多  
節動物ト  
云フ  
何ヲカ無  
血虫ト云  
フ

如何ナル  
者ヲカ最  
下等動物  
ト云フ  
動物界ノ  
大別ヲ問  
フ

ハ環有テ、左ナガテ關節ノ如シ、蜂蝶漢名ニモ亦環ヲ見ル、但シ蟹ニハ軟體動物ノ殼ニ似ルモノアリ、是等ヲ多節動物ト云フ、中ニ就テ、蟻蜂蝶蟬蚤蠅ノ類ヲ無血虫トス、コレ猶脊骨動物ヲ分テ、哺乳類鳥類魚類爬行類トスルガゴトシ、藁草ナドノ浸水中ニハ、目ニ見エザル細虫アリ、此類ヲ臭水動物ト云ヒ、又驗微鏡虫ト云フ、最下等動物ナリ、故ニ動物界ヲ大別シテ、脊骨動物軟體動物多節動物多肢動物及ヒ最下等動物トス、乃チ動物分類ノ表ヲ掲ゲテ、以テ一覽ニ便ス、

# 動物界

上等動物即脊骨動物

下等動物

哺乳類

鳥類

魚類

爬行類

龜蛇等ノ族  
蛙族

軟體動物

多節動物

多肢動物

最下等動物

蟹海老百足蜘蛛類  
無血虫類



第十四 最下等動物ノ話

驗。微。鏡。ハ、物ヲ大クスルコト、二百倍ヨリ、一千倍ニ達ス、五百倍ノモノヲ以テ、毛髮ヲ照セバ、其大サ殆ド指ノ如シ、驗微鏡ヲ用フル時ハ、意外ノモノヲ發見スルコトアリ、

一滴ノ牛乳ニハ、數千ノ白球アリ、一滴ノ醋ニ、無數ノ蟲有テ、跳ビ上リ跳ビ下ルコト、恰モ泥鰌ノ水中ニ跳ルガ如シ、○藁草杯ノ浸水、一滴ノ中ニハ、見習レザル小蟲夥シク棲ム、臭水動物ト云ヒ、

醋中ノ蟲



驗微鏡虫トハ如何ナル者ヲ云フカ

又驗。微。鏡。蟲。ト名ヅク、驗微鏡ノ發明有テ、始メテコレヲ知ルガ故ナリ、肉眼ニテハ、決シテ見エヌモノナリ、右ノ如クニ、軀體極メテ微細ナル者ヲ、最下等動物トス、大抵皆水中ニ棲息ス、四肢軀體內臟、區別ナク、多クハ球塊ニシテ、蛋白様ノ物質ヨリ成ル、故ニ甚ダ透明ナリ、臭水動物ニハ、膜有テ、其軀體ヲ被色シ、又毛アリ、其震動ニ由テ、水中ヲ游泳ス、コレニハ二類アリ、一ハ、終始孤獨ニテ游泳シ、一ハ、他物ニ固着スル

コトアリ、或ハ脱離シテ水中ヲ游泳スルコトアリ、  
海綿類モ亦最下等動物ナレドモ、群居シテ大塊  
ヲナスモノナリ、其種類様々アリ、各形状ヲ異ニ  
ス、皆二箇ノ物質ヨリ成ル、一ハ動物ニシテ一ハ  
其動物ヲ保持スルモノナリ、  
目ニモ見エザル小蟲ヲ、斯クノ如クニ、吟味スル  
ハ、徒ニ奇ヲ好テ、珍物ヲ發見セントスルニアラ  
ズ、其實際ニ緊要ナルコト、擧ゲテ言フベカラズ、  
知ラズヤ、牛乳ニハ、病牛ヨリ絞タルモノアリ、奸  
商ノ物ヲ雜ゼタルモノモ有テ、皆健康ニ害アリ、

是等ノ品ヲ、吟味センニ、驗微鏡ヲ用ヒズレテ、何  
ヲカ用ヒン、又病體ノ血ヲ驗査シテ、病症ト原因  
トヲ察シ、以テ治療ノ法ヲ研究ス、傳染病毒ハ、小  
蟲ナルコトヲ發見シテ、豫防法ヲ發明セシハ、嘗  
テ病獸ノ血中ニ、夥シク小蟲アルヲ見タルノ後  
ニアリ、一滴ノ血中ニ、數千ノ小蟲アリ、蟲毎ニ、夥  
シク細微ノ卵有テ、其體面ヲ圍ム、コレ獸類ノ死  
ノ、果シテ傳染病ニ由ルコトヲ知ル時ハ、速ニ火  
葬スル所以ナリ、若レコレヲ忽ニスル時ハ、土中  
ノ蟲ハ、右ノ卵ヲ持チ去リ、次ニ風雨モ亦コレヲ



四方ニ送テ、草葉ニ付シ、忽チ茲ニ繁殖ス、故ニ一  
 粒ノ卵モ、一時ニ牛馬數千頭ヲ殺スコトアリ、  
 コレヲ病ハ、バチルレント云フ細蟲ニ原因スト  
 云ヒ、其他ノ傳染病モ、多クハ細蟲ニ因ルト云フ、  
 故ニ傳染病ノ流行スル時ハ、政府ヨリ命令シテ、  
 特ニ防疫所ヲ設ケ、擔當吏ヲ派出シテ、勸告説諭  
 至ラザル所ナク、人民愛護ノ道盡サバ、ル所ナシ、  
 左レド、無智蒙昧無學文盲ノ愚民ニ至テハ、曾テ  
 コレヲ曉ラズ、却テ説諭ヲ五月蠅ウレキユトニ思ヒ、苦情ヲ  
 鳴ラスモ、アリ、愚トヤ言ハン、命知ラズトヤ言

何故ニ目  
 ニモ見え  
 ザル小虫  
 ヲ吟味ス  
 ルカ、  
 傳染病ノ  
 流行スル  
 時ハ如何

ハン、歎テモ尚餘リアリ、斯クノゴトキ愚輩ハ死  
 ルモ惜ムニ足ラズ、自業自得ト言フベキノミ、左  
 レド、其死ハ一人ニ止マラズ、病毒遂ニ人ヨリ人  
 ニ傳テ、猶火燄ノ風ニ依テ、延燒スルガゴトキモ  
 ノナレバ、常々前件ノ恐ルベキ理ヲ心得置テ、官  
 ノ命令アル時ハ、ヨク之ヲ遵奉シテ、自他ノ災ヲ  
 避クルコソ、願ハシケレ、

第十五 多肢動物ノ話

ナ。マ。コ。漢名ハ、諸國ノ海ニ産ス、長サ七八寸アリ、  
 俗ニ之ヲ海鼠ト云フ、イ。リ。コ。漢名ハ、之ヲ乾カシ

海嶽効用ヲ問フ

ギムコハ何處ノ名産ナリヤ

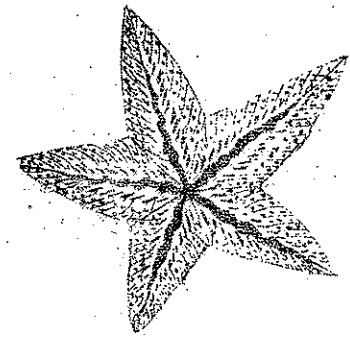
雲丹ハ如何ニシテ貯フルヤ

タコノマクラヲ問フ

テ製シタルモノニテ、コノワタハ、其腸ヲ鹽漬ニシタルモノナリ、共ニ食用ニ供スベシ。ギムコハ漢名ハ、ナマゴノ一種ニテ、奥州金華山ノ名産ナレド、羽州及ビ北海道ニモ亦コレアリ。雲丹ハ肉ヲ鹽漬ニシテ、食用ニ供ス。越前及ビ對州ノ名産ナレド、其外ノ海ニモ産シ、其製品モ亦所々ヨリ出ヅ。タコノマクラハ、漢名ハ、殻ノ面ニ紋理アリ、又ハ、スノハガヒト云ヒ、又キ、ヤウカヒト云フ、其形ニ依テ名ヅクルナリ。ヒトデノ殻ニハ五箇所ニ尖リ出タルモノアリ、形、楓ノ如シ。モミ

ヒトデハ如何ナル者カ

チガヒト云フ、其色様々アリ、類モ亦多シ、尖タル所五ツ、共ニ細クシテ、長キ者アリ。ヒトデノ花ニ似テ、糸卷ニ用フベキモノアリ、糸卷ヒトデト云フ。クラゲハ、俗ニ海月ト云ス。針有テ、之ニ觸ルレバ刺ス者アリ、肉ニモ毒アルモノアリ、之ニ中レバ、早晚必ズ死ス。種類ニ依テ、食フベキモノアレドモ、アカクラゲハ、漢名ミヅクラゲ等ハ皆毒アリ、食フベカラズ。クラゲハ、細カ



本草綱目卷之九



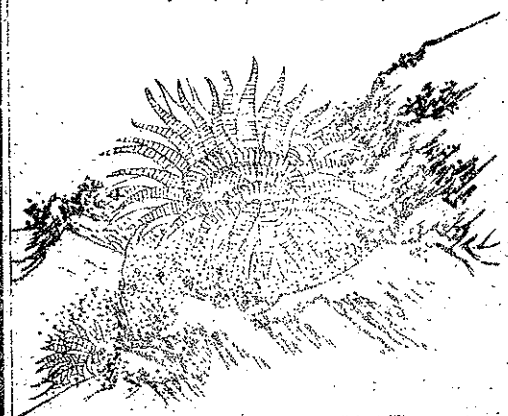
海月皆  
食フベキ

珊瑚ハ我  
が國ニテ  
何處ヨリ  
産スルカ

ニ破碎ストモ、碎片毎ニ、又一ノクラゲト成テ、蕃殖スルノ奇性ヲ有スル者アリ、珊瑚ハ、植蟲ニテ、石灰質ノ家ヲ作り、群ヲ爲シテ之ニ住ム、家ノ形ハ、樹ノ如シ、世人ノ珍玩スル珊瑚樹。コレナリ、紅色ノモノアリ、紅珊瑚ト云フ、土佐ヨリ出ヅ、白色ノモノアリ、白珊瑚ト云フ、因幡ニ産ス、外國ニハ、珊瑚ニテ一ノ鳥ヲナスモノアリト云ス。

○  
クマチンギソイ

植蟲ノ集合セスシテ、各別ニ住



イソギン  
チヤクヲ  
問フ

錫ハ何ヨ  
リ製スル  
モノカ

ムモノアリ、イソギンチヤク。漢名菟是ナリ、海岸ニ生ズ、潮來レバ、伸テ開クコト、花ノ如ク、潮去レバ、縮テ球ノ如シ。

### 第十六 軟體動物ノ話

錫ハ、我が國産ノ一ニテ、鳥賊ノ一種スルメ、イカ漢名ヲ乾カシタルモノナリ、内國人モ、食用ニ供シ、又支那ニ輸出スルコト多シ、○稗蒔。上ヲ土器ノ種子ヲ蒔、或ハ箱庭ニ用フル、鶴鷺杯ハ、イカノカ。漢名海ナリ、コレハ鳥賊ノ骨ノ如キモノ、鳥賊類ニコレナキモノモアリ、ニテ、牡蠣杯ノ殻ト

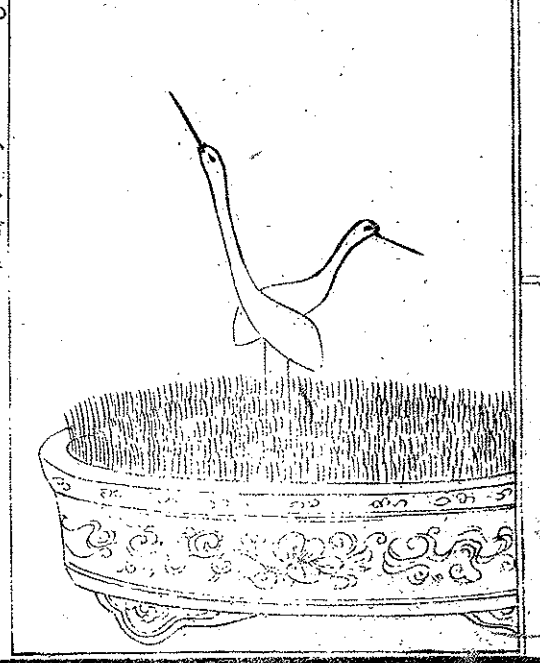
小樽里才賣人

第一卷下

十

烏賊ノ習  
慣並ニイ  
カノカ  
ノ効用ヲ  
問フ

ハ、其用同ジカラズ又烏賊ノ腹ニハ、小キ袋有テ、黒液之ニ滿ツ、烏賊ノ墨ト云ヒ、又黒分ト云フ、敵ニ追ハル、時ハ、之ヲ散ジ、水ノ濁ルニ乗ジテ、逃ゲ去ルト云フ、イカノカフハ、磨齒散ヲ製スベシ、又鳥類ノ好テ之ヲ食フハ、其中ニ含メル石灰質ヲ以テ、卵殻ヲ造ランガ爲メナリ



カ。タ。ツ。ブ。リ。  
漢名ハ、ナ。メ。ク。ヂ。  
漢名ハ、蛤。輪。  
ニ似テ、且ツ薄

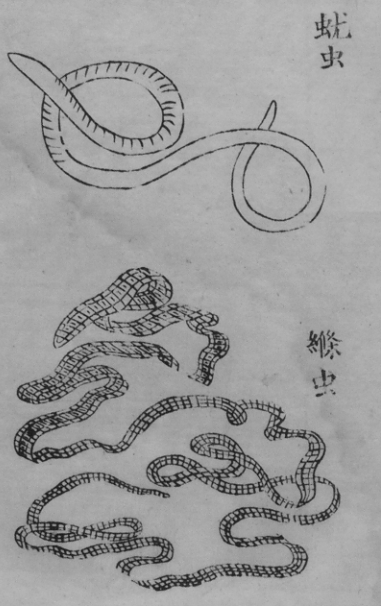
キ殻アリ、角ハ四本アリ、其二本ハ細小ニテ、地ヲ探リ物ヲ握リ、殘ル二本ハ、端末ニ黒點アリ、宛モ目ノ如シ、左レド、明暗ヲ辨セザルモノニ似タリ、其進ム時路ニ物アルモ、曾テ之ヲ避ルコトナシ、試ニ種々ノ法ヲ設ケテ、之ヲ驚カサントスルモ、直ニ其體ニ觸レザル間ハ、此モ恐怖ノ様子ナシ、若シ果シテ、盲ナリトセバ、其臭ヲ覺フルコト、極メテ鋭キモノナリ、○植物ノ軟ナル葉又ハ熟シタル果實ヲ好ム、夏來レバ、桃梨ノ最モ善ク熟シタル果ヲ擇テ、終夜之ヲ食ヒ、尚盡キザル時ハ、次



蝸牛ノ形  
狀性質習  
慣ハ如何  
軟體動物  
ノ食ヲベ  
キ者ヲ舉  
ゲヨ  
フ 蛇虫ヲ問

夜又來ル、晝間、天氣乾燥スルニ方テハ、蔭所ニ潛伏スレド、往來進退スルニ、曾テ其方向ヲ過タズ、樹ノ在所ヲ忘レズ、又果實ヲ誤ルコトナシ。○秋來テ、食物ナキ時ハ、寒蟄ノ用意ヲシ、南面ノ壁若クハ樹ノ穴ヲ求メ、粘液ニテ其所ニ固着シ、殼ノ門ヲ閉ヂテ、外物ノ來襲ヲ防ギ、泰然トシテ來春ヲ待ツ、但シ粘液乾ケバ、硬キ蓋トナルナリ。○牡蠣、鮑、蛤、蜆等ハ、皆食用ニ供スベシ、クワ、イ、チ、ウ、漢名ハ、其形、蚯蚓ニ似レド、長サハ七八寸ニ達ス、人ノ腹内ニ生ズ、殊ニ兒童ニ多シ、又

真田虫ヲ問フ



蛇虫

繅虫

リ、鮭又豚肉ヲ生ニテ食フニ因テ生ズト云フ、是等ノ蟲ハ、軟體動物ト、多節動物ト、中間ニ位スルモノナリ、

第十七 多節動物ノ話  
ムカデハ、足ノ數極メテ多シ、故ニ百足ノ名アリ

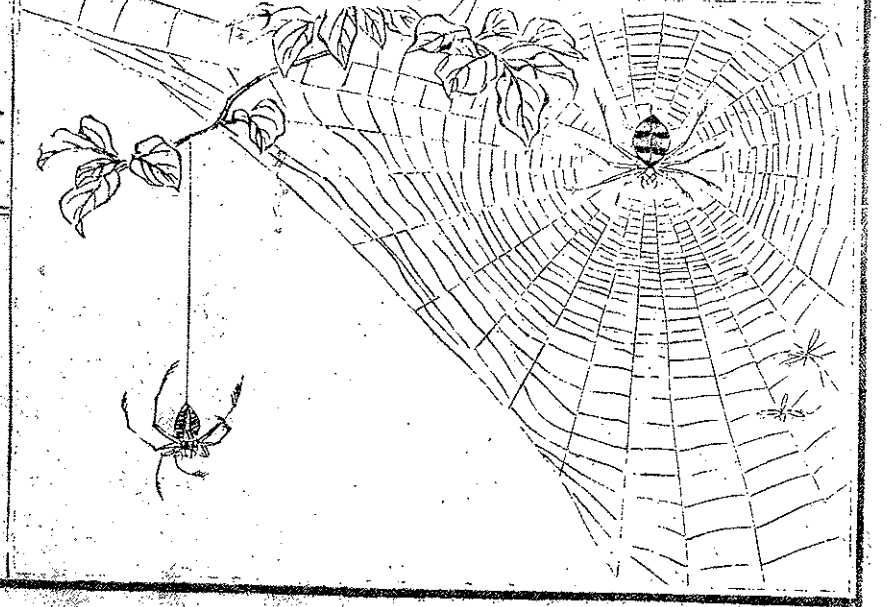
サナダムシ 漢名ハ、其形宛モ真田紐ノ如シ、故ニ此名アリ、長サハ一二丈ニ至ル、人ノ腹内ニ生ズル蟲ノ最モ長キモノナリ

何百足ハ如

其體ニ環狀ノモノ數箇有テ節ヲナスコトガリ  
 ガニ海老等ニ均シコレ多節動物ノ名アル所以  
 ナリ若シ不注意ニ之ヲ捕レバ忽チ嚙ミ疵口ニ  
 液ヲ注テ痛ヲ發ス又無血蟲ノ近ヅク時ハ其液  
 ヲ以テ之ヲ殺シテ餌トス  
 蜘蛛ハ腹ヨリ濃液ヲ生ズ空氣ニ觸レテ凝結ス  
 レバ糸トナル之ヲ數百本集メテ綱トナシ以テ  
 綱ヲ作ル之ヲクモノス漢名蜘蛛綱ト云フ一綱ヲ作  
 ルモ容易キ業ニアラズ先ヅ綱ノ一端ヲ物ニ着  
 欠次ニ體ヲ振搖シ他物ニ觸レテ又一端ヲ掛欠

蜘蛛網ハ如何ニシテ之ヲ作リ又何ノ用ニ供スルヤ

無數ノ綱ヲ縱横ニ架シテ  
 始メテ落成ス乃チ綱毎ニ  
 粘液ヲ塗テ飛蟲ノ來ルヲ  
 待ツ飛蟲ノ之ニ罹ルヤ宛  
 モ綱網ニ罹ルガ如クニテ  
 逃ルコト能ハズ之ヲ殺  
 シテ食餌トス  
 蟹海老シヤコワラギムシ  
 漢名ガリガニ漢名蜘蛛ア  
 鼠婦ガリガニ蜘蛛ア  
 トビサリ漢名蜘蛛ア  
 惡風フナムシ漢名



小學理科讀本 第一卷下 十三



他ノ多節  
動物ヲ舉  
ゲヨ

小段 環和詩本 第一卷下

海 又犬ナドノ體ニ深ク食ヒ込ム彼ノダニ漢名  
及ビ無血蟲ト稱スル蚊蠅蝶等ハ皆多節動物ナ  
リ但シ無血蟲ハ種類少カラズ其數最モ多ク面  
白キ話モ亦澤山アレバ別ニ之ヲ説カントス

第十八 無血蟲ノ話

無血蟲ハ頭ニ感角アリ足ハ六本ニテ多クハ翼  
アリ蟻ノ歩ムヲ見ヨ感角ニテ土地ヲ探リ前路  
ニ危険ナキコトヲ察シテ後歩ヲ進ム路ニテ友  
ニ逢フ時ハ互ニ感角ヲ接シテ種々ノ容態ヲス  
ルハ其進ムベキヤ否ヤヲ合圖スル者ノ如シコ

蟻ノ性質  
習慣ヲ問

無血蟲ハ  
如何ニシ  
テ響音ヲ  
發スルカ

レ觸感ノ働ナリ○又聽感嗅感ヲ兼ヌルニ似タ  
リ中ニモ嗅感ノ鋭敏ナルコト驚クニ堪ヘタリ  
其善ク糖類ノアル所ヲ知テ此所ニ群集スルハ  
平常人ノ知ル所ナリ  
クツワム漢名ノ鳴聲ハ我ガチヤガチヤ智チヤ爺ヤ我チヤ智チヤ爺ヤ蟬ハ  
可見可見又嗚呼イッソク可惜ト言ヘド其實ハ鳴クニア  
ラズ兩翼ヲ擦テ響音ヲ發スナリ  
口ノ長キコト針ノ如キ蟲アリ其口ヲ吸器ハ云  
ス之ヲ以テ人體ヲ刺シテ其血ヲ吸フ蚊ヲ見テ  
知ルベシ之ヲ以テ花ノ汁ヲ吸フ蝶蜂ノ如シ又

小段 環和詩本 第一卷下

無血毒  
効用ヲ問フ

蜜蜂効  
用ヲ問フ

人ノ目ヲ慰ムルモノアリ。蝶。螢ノ如シ。面白キ響音ヲ發スモノアリ。松。蟲。鈴。蟲ノ如シ。絹糸ノ繭ヲ作テ。國ニ貴重ノ輸出品ヲ供スルモノアリ。カ。コ漢名ノ如シ。蜜及ビ白蠟ヲ製スルノ原品ヲ供スルモノアリ。蜜蜂ノ如シ。

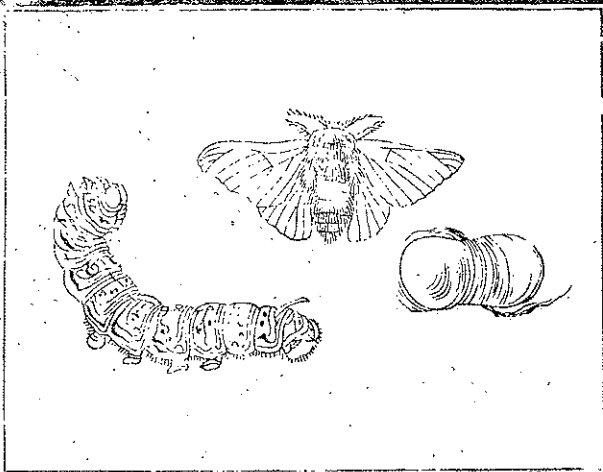
蜜蜂ハ。花ノ液ヲ變ジテ。蜜漿トシ。又黄蠟トス。其黄蠟ヲ以テ。巢ヲ作テ。之ニ蜜漿ヲ藏メ。人其漿汁ヲ取テ。蜜ヲ製ス。黄蠟ハ。用方極メテ多シ。又精製シテ。白蠟トス。○蜜蜂ニハ。雄蜂。雌蜂。三様アリ。一隊中。只一ノ雌蜂ヲ推シテ。王トス。雌蜂ノ

數若シ多ケレバ。必ズ相戰ヒテ相殺シ。勝タルモノ留テ。全隊ノ王トナル。時ニハ。一隊ニ二雌蜂有テ。巢ヲ二室ニ分チ。各其黨ヲ率テ。別居スルコトアリ。雄蜂ハ。肥大ニテ針ナシ。其數甚ダ少ク。巢内ニ住ムノ日モ。亦久シカラズ。一二箇月ノ後ニハ。工蜂之ヲ殺シテ。死骸ヲ巢ノ外ニ棄ツ。工蜂ハ。液汁ヲ索メテ。蜜漿ヲ釀シ。黄蠟ヲ製シ。又巢ヲ作ル。蜂王ハ。此内ニ在テ。卵ヲ産ム。一雌蜂ノ産出スル卵ハ。一年ノ間ニ。幾千ノ多キニ及ズ。左レド。其子ニ食餌ヲ與テ。之ヲ養育スルモノハ。工蜂ナリ。



蜜蜂ノ習  
 工蜂ノ勉  
 蟻ノ如何  
 蟻ノ種類  
 ヲ問フ

○工蜂ノ耐忍勉強ナルヤ出テハ液汁ヲ索入  
 入テハ蜜漿ヲ釀シ又巢ヲ作り兒子ヲ養育スル  
 等實ニ感ズベキニアラズヤ蜜蜂ノ巢ヲ作ル其  
 徒ハ誠ニ嚴重ナルモノニテ先ヅ群ヲ分テ各其  
 役目ヲ引キ請ケ一群ハ外ニ出デ花ノ汁ヲ求  
 メ一群ハ内ニ居テ窠ヲ營ミ一群ハ材ヲ運ビ又  
 之ヲ配分スルナリ○蟻ニモ亦雄蟻雌蟻立蟻ノ  
 三様アルコト蜜蜂ニ均シ  
 蝶ノ一類ニカヒコノテフ漢名ト云フ者アリ蠶  
 ハ蠶蛾ノ青蟲ニテ追々變化シ遂ニ蝶トナル○



蠶ノ種紙ヨリ生ル初メヲ見  
 ルニ其形ハ宛モ小キ軟蟲ノ如  
 ク全體ハ淡黒ニテ頭ハ眞黒ナ  
 リ好テ桑ノ葉ヲ食フ大約一箇  
 月餘ニシテ大ニ成長シ繭化ノ  
 初メニ比ブレバ殆ド百五十倍  
 或ハ二百倍ニ達ス一箇月餘ノ  
 間ハ發育斯クノ如クニ速ナレド其後ハ暫ク發  
 育セズ全身透明ト成テ食氣全ク去リ這テ籠ヨ  
 リ外ニ出ヅコレ繭ヲ作ルベキ所ヲ求ムルナリ

之ヲ上リ。蠶ト云ヒ、又引キ。蠶ト云フ、此時拾テ、マ  
ブ。レニ入ルレバ、絹糸ヲ吐キ、以テ卵殼様ノモノ  
ヲ作テ、其身ヲ包ム、殼既ニ落成レバ、全體一褐色  
ヲ呈ス、此時睡テ死ルガゴトシ、コレヲ名ヅケテ、  
蛹ト云フ、コレ第一ノ體形變遷ナリ、其卵殼様ノ  
モノヲ、繭ト云フ、繭ニハ、黄白ノ二様アリ、夫レヨ  
リ七日、又ハ八日ヲ經テ、繭ヲ破テ、白キ蝶ニ化ス、  
左レド、兩翼ハ尚小ク、幹身ハ大ナルガ故ニ、飛颺  
スルコト叫ハズ、其出タル邊ヲ、徐ニ歩ムノミ、コ  
レ第二ノ變形ニテ、卵ヲ産ムハ、此時ニ在リ、既ニ

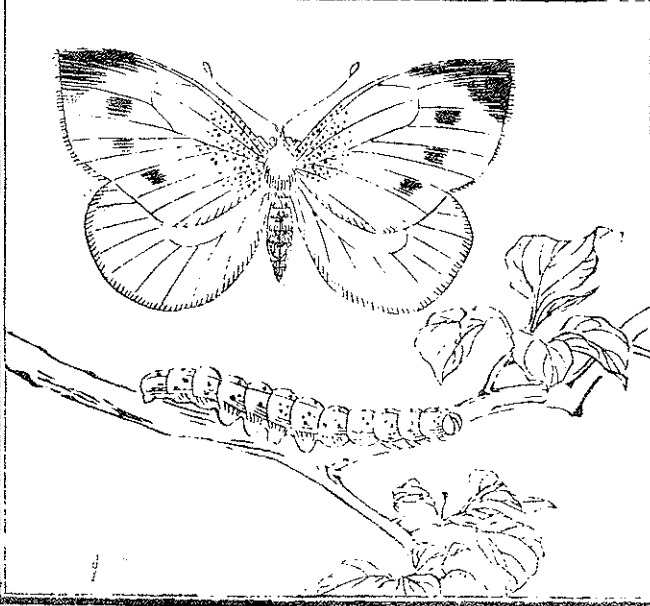
蠶ノ變化  
ヲ問フ  
何ソカ體  
形變遷ト  
云フ

卵ヲ産ミ終レバ、雌雄共ニ、食ハズシテ死ルナリ、  
斯クノ如クニ、變化スルコトヲ名ヅケテ、體形ノ  
變遷ト云フ、

第十九 體形變遷ノ

話

蝶ハ、花ニ戯レテ、美クモマ  
夕愛ラシク、青蟲ハ、草木ニ  
付着シテ、醜クモ、又憎ラシ  
コレニ親子ノ差コソアレ、  
元ト正セバ、同ジ物ニテ、





蝶並ニ蚊ハ初メ其形如何

蟹初メコリ蟹ナリシヤ

蝶ハ青蟲ノ成長セルモノナリト言ハシ大ニ怪ム人モアラシ又ボウフラ漢名ハ春夏ノ際濁水ノ中ニ游ビ蚊ハ盛夏ニ飛ビ來テ人體ヲ刺スコレモ元ト同物ニテ蚊ハ即チボウフラノ兄ナリト言ハシ又大ニ怪ムモノアラシ左レド體形ノ變遷ハ無血蟲ニ限ラズ外々ノ動物ニモ其例少カラズ蟹ノ卵ヨリカ化タル時其姿ヲ見レバ此モ似ルベキ様ナク到底幾年ヲ經レバトテ之ニ似ルモノニサヘ爲ルベシトハ思ハレズ左レド日ニ漸

蛙ハ如何

體形變遷ハ何類ニ最モ多キヤ

ク變リ月ニマスマス化シテ遂ニ蟹トナル○又陸上ヲ飛ビ廻ル蛙類ヲ見ヨ上等動物ノ肺臟ヲ具フルモノナレド漢名ニテ柳化ノ初メハオタマヅヤクシ蝌蚪ニテ其水中ニ游ビ廻ル姿ハ魚ト異ナルコトナク且ツ鰓ニテ呼吸ス然ルニ月日ヲ重子テ漸次本態ニ變遷ス○抑モ體形ノ變遷ハ無血蟲ノ特有ニアラズ左レバコレガ目徴トハシ難シ但シ無血蟲ヲ見ルニ成長シテ體形ノ全ク備ル後ニ至テ尚初メノ姿ヲ殘スモノハ誠ニ稀レナリコレ無血蟲ノ説話ニ次テ體形ノ變遷ニ説

八里十賣



體形變遷ノ段落少キ者アリ



キ及ボス所以ナリ、  
 諸體形ノ未ダ完全セザルモノハ、**蠅トナリ、蛹ト**  
**ナル、蛹ハ蠅ノ既ニ一變シタルモノナリ、無血蟲**  
 ノ中ニハ、**體形變遷ノ段落少ク**  
**シテ、蠅ニ足及ビ翼ヲ生ジ、曾テ**  
**蛹ニ變ゼザルモノアリ、バツタ、キ**  
**リ、ギリ、スノ類是ナリ、○蜻蛉ハ、**  
**卵ヲ水中ニ産ム、其卵ハ、此所ニ**  
**テ、卵化リ、蠅トナル、其生活ハ、魚**  
**ノ如シ、漸ク變化スレバ、水草ヲ**

蜻蛉ノ變遷ハ如何

渡テ、水  
 面ニ出  
 テ、幼時  
 ノ産衣  
 ヲ脱テ、  
 蜻蛉ト  
 ナリ、遂  
 ニ空ヲ  
 飛行シ、  
 地ヲ堀



昆虫斗賣六  
 第一卷六  
 十九



蟻ノ變態ヲ問フ

テ、蟻ノ巢ヲ開ケバ、大ナル混亂ノ際ニ、白キ粒ノ夥シク蠢動クヲ見ル、コレ小キ蠋ニテ、蟻ノ卵ヨリ産レタルモノナレド、足無クシテ、這フコトモ叶ハズ、若シ工蟻ノ之ヲ養育スルニアラザレバ、飢テ死ルノ外ナカルベシ、ト思ハル、左レド、追々時日ヲ經ルニ隨ヒ、漸ク肥エ太リ、絹様ノ薄キ殻ヲ紡テ、蛹ニ化ス、薄キ皮ノ外ヨリ、透シテ蟻ノ本形ヲ見ルベキハ、此時ニアリ、繻化ノ期來レバ、工蟻ハ、其殻ヲ破テ、蟻ヲ出ダス、尚軟ナレド、更ニ成長シテ、完全ノ蟻トナルナリ、

蝶ノ變態ハ如何

蝶ハ、細小ナル感角ヲ有シ、角ノ端ハ、少ク膨起ス、又長キ纖毛ヲ以テ胸ヲ被ヒ、翼ニハ、斑點有テ、甚カ美ク、其花ニ戯ル、有様ハ、愛ラシクモ、人ノ目ヲ慰ム、然ルニ、青虫ハ、草木ニ寄り食テ、飽クコトヲ知ラズ、故ニ人ノ憎心ヲ引ク、偕其成長スル時ハ、絹糸ノ如キモノヲ、草木ノ葉ニ付ケテ、之ニ居リ、其皮ハ變ジテ、繭ノ形トナル、更ニ時日ヲ經レバ、産衣ヲ破テ、蝶トナリ、遂ニ空中ヲ飛行ス、又其母蝶ハ、夥シク卵ヲ産テ後ニ死ス、○絹ヲ吐クカ、ヒコモ、亦青蟲ニテ、其繭ヲ作タル後ハ、化シテ蝶

トナルモノナリ、

第二十 脊椎動物ノ話

下等動物、即チ最下等動物、多肢動物、軟體動物、多  
 節動物ニハ、骨ナケレド、上等動物ハ、骨アリ、相集  
 テ柱トナリ、鏡トナル、名ヅケテ骨ホネ格ト云フ、○鳥  
 類ノ骨ヲ見ルニ、其兩端ハ、膨レテ軟ナル所アリ、  
 之ヲ軟骨ト云フ、傍ノ骨ト相觸ル、時、柔ニ之ヲ  
 受クンガ為メナリ、骨ハ元ト軟骨ノ更ニ軟ナル  
 モノニテ、石灰質次第ニ加リ、遂ニ固クナル、魚類  
 ノ中ニハ、身ヲ終ルマデ、其骨ノ軟ナルモノアリ、

上等動物  
ト下等動物  
ト主テ  
ル別ヲ問  
フ

骨管硬  
キカ

何故ニ上  
等動物  
ト云フカ

○人ノ骨格ハ、頭蓋骨、脊骨、手足等ナリ、牛、馬、犬、猫、  
 鳥、魚、蛇、蛙ニハ、皆骨格有リ、其中ニモ脊骨ハ一番  
 大切ナリ、故ニ之ヲ脊椎動物ト云フ、上等動物ノ  
 中ニモ、他ノ部分ニハ、不  
 足ノ所アルモノアリ、左  
 レド、脊骨ノナキモノハ  
 アラズ、  
 骨格ハ、其動物ノ都合ニ  
 依テ、夫々相違アリ、哺乳  
 獸ノ地上ニ住ムモノニ



蛙ノ骨格

ハ、里斗賣ノ

第一卷下

五



哺乳獸ノ骨格ハ如何

猿ノ骨格ハ如何

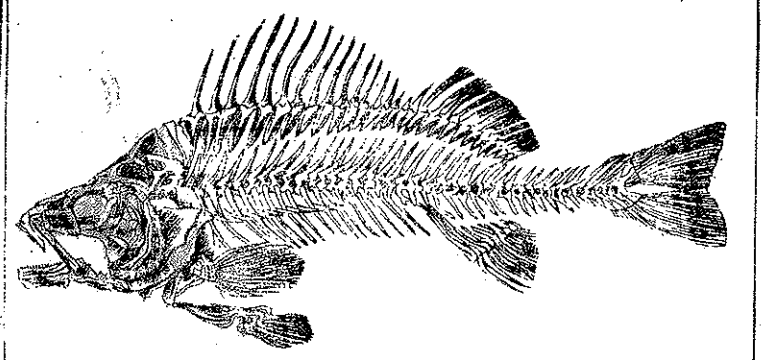
蛙ノ骨格ハ如何

犬ノ骨格ハ如何

ムグラモ子ノ骨格ハ如何

ハ、皆四足アリ、之ヲ以テ、其體ヲ支フ、○猿ハ、木ニ棲ムモノニテ、四本ノ手ハ、皆樹木ノ枝ヲ握ルニ都合ヨシ、○蛙トカゲ漢名石龍子ハ、足ノ端分レテ四指、或ハ五指ト為ル、コレ歩行ニ都合ヨク、又物ヲ握ルニモヨロシ、○犬、猫ノ前足ハ、五指ニテ、猫ノ爪ハ長シ、鼠ヲ捕ルニ都合ヨシ、又後足ハ、四指ナリ、コレ重ニ歩ムガ為メニテ、物ニ觸レ、物ヲ握ルノ用少キニ由ル、狐ハ地ヲ掘ル、故ニ、爪廣クシテ強シ、○ムグラモ漢名鼯鼠ハ、地中ニ棲ミ、地ヲ掘リ、七蟲ヲ捕テ、食餌トス、故ニ、前足ハ丈夫ニテ、杓

蝙蝠ノ骨格ハ如何  
 鯨ノ骨格ハ如何  
 魚類ノ骨格ハ如何



子ノ狀ヲナス、○蝙蝠ハ、空ヲ飛ブモノニテ、四肢ト前肢ノ爪トノ間ニ膜有テ、翼ノ用ヲナス、近來流行ノ蝙蝠傘ハ、此膜ヲ開タル形ニ似ルガ故ニ、斯ク名ヅケタルナリ、臂ハ長ク、指モ亦

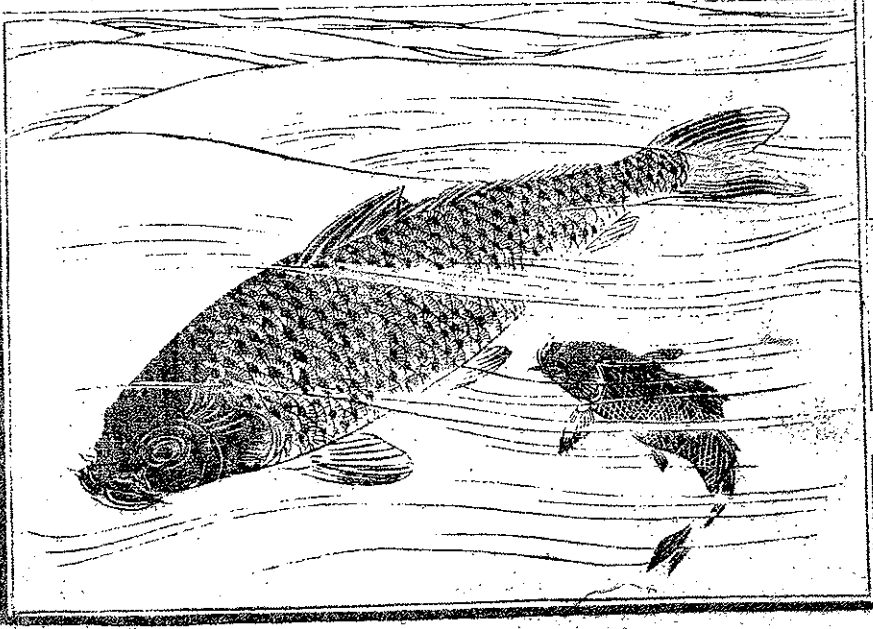
拇指ノ外ハ、皆長シ、翼ヲ張ルニ便ナリ、○鯨并ニ、アシカ漢名海驢ハ、四肢共ニ、魚ノ鰭ニ均シ、水中ヲ游泳スルニ、都合ヨシ、○魚類ノ骨格ハ、頭蓋骨、脊骨、肋骨及鰭ニテ、蛇ニハ、鰭

魚類ノ骨格ハ如何  
 鯨ノ骨格ハ如何  
 蝙蝠ノ骨格ハ如何

ナク、蛙ニハ、鱗ナク、亦肋骨ナシ、

第廿一 魚類ノ話

鯉ハ、淡水ニ棲ム魚ナリ、體ハ平ニテ長ク、頭尾共ニ尖レリ、魚ノ形ハ、大概斯クノ如シ、船底ノ形ハ、之ニ摸タルモ、ニテ、其縦ヲ長クシ、横ニ突出スルモ、ノヲ設ケザルハ、水ヲ分ルノ容易ニ



魚類ノ體ハ何故ニ滑ナルカ  
鬚ハ何ノ用ヲカ爲ス

元、進行ノ速ナランコトヲ思テナリ、此事ヤ、數回ノ考案ト實驗ト、ヲ經タル後ニ在リ、ト云フ、○魚ニハ、鱗アルモノ多シ、鱗ハ、魚ノ鎧ニテ、屋瓦ノ相重ルガ如シ、其形、一樣ナラズ、依テ種類ヲ鑒定スルニ宜シ、○鯉ニ手ヲ觸ルレバ、其滑ナルヲ覺ク、コレ皮ヨリ、粘液ノ滲ミ出テ、鱗ヲ包ムニ因ル、敵之ヲ捕ルトキ、容易ク滑リ、逃ル、ガ爲メナリ、鬚ハ、觸感ノ器械ニテ、猶カ、タツブリノ、感角ノゴトシ、又鬚ナキモノアリ、○齒アル者ハ、之ヲ以テ餌ヲ拘ケ、其脱落ヲ防ギ、齒ノナキモノハ、直ニ其

魚三眼  
ナキハ何  
故ツヤ

聽感器  
何處ニ  
ルカ  
呼吸器  
如何

餌ヲ吞ム、鯉ノ目ハ、大ニテ、光輝アリ、魚ノ目ニハ、  
眼瞼ナシ、眼中ニ涙ヲ生ズルハ、眼瞼ノ重ナル用  
ナレド、魚ハ水中ニ在テ、眼常ニ滑ナレバ、別ニ涙  
ヲ要セザルニ由ル、物ヲ視ルコト、甚ダ鋭ク、餌ヲ  
見出シ、兼テ敵ノ襲來ヲ見張ルナリ、  
魚ノ聽感器ハ、頭蓋骨ノ内ニ在テ、外ニ顯ハレズ、  
鯉ヲ見ルニ、頭ノ兩側ニテ、目ノ後ニ、半圈様ノ割  
レ目、一ツ宛アリ、コレ其耳ナリ、開閉自在ニテ、其  
下ニ、呼吸器アリ、コレ所謂ル、鰓ニテ、薄キ膜ヨリ  
成リ、其形、恰モ總ノ如シ、水中ニ解ケタル酸素ヲ

鰓ハ何ノ  
用ヲナス  
カ尾ハ何  
ノ用ヲナ  
スカ

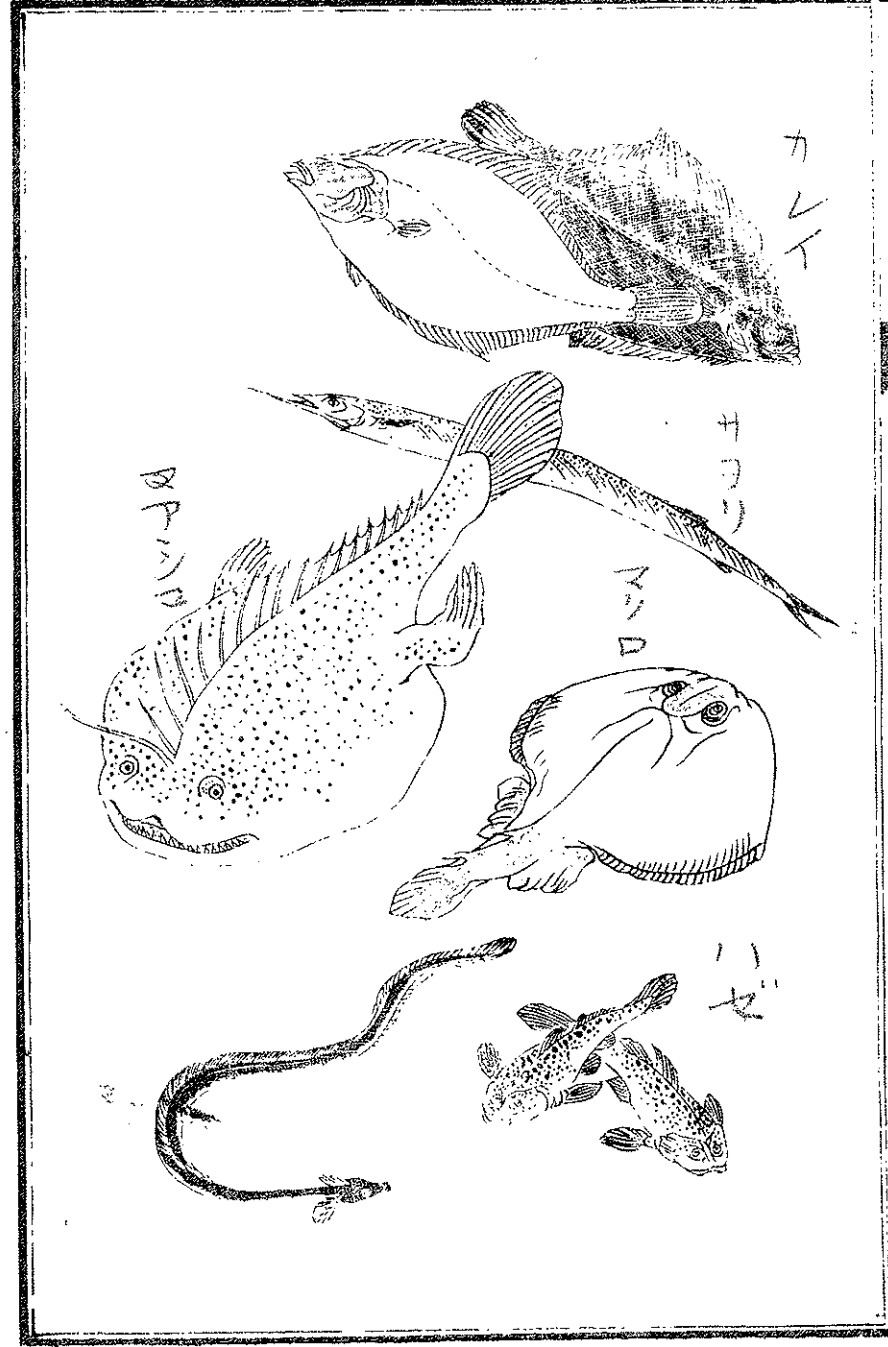
魚ハ何故  
ニ浮沈自  
在ナルカ

吸フ、其膜ノ中ニ、脈管夥シク擴ガル、頭ノ後ニテ、  
體ノ兩側ニ、二ノ鰓アリ、臂ノ用ヲ爲シ、胸ノ鰓ハ、  
楫トナリ、尾ハ舵トナル、○鯉ノ體內ニ、膜ノ囊アリ、  
リ、空氣之ニ充滿ス、名ツケテ浮囊ト云フ、心ノ儘  
ニ膨縮ス、其膨ル、時ハ、體大クナリ、縮ル時ハ、小  
クナル、左レド、重サヲ増減スルコトナシ、故ニ自  
由ニ浮沈スルナリ、他ノ魚類モ皆然リ、○鯉ハ、毎  
歳卵ヲ産ムコト、凡ソ一萬ニテ、又五萬ノ卵ヲ産  
ム魚モアリ、○鯉ハ、軟ナル草穀類、蟲類ヲ食フ、  
鯉ト形ノ大ニ異ナルモノアリ、ウナギ、  
鰻、漢名ハ、  
鰻

魚類学 第一卷 第四



蛇ニ似タル魚ハ何カ  
 又ニ萬ケル魚ノ名ヲ舉ゲヨ



海面ヲ飛ブ魚ハ何カ  
 アグレハ食フベキ魚カ

漢名海アナゴ。漢名伏鰻名ハ一目見タ所ニテハ蛇ニ類ス。サヨリ。漢名鰻魚名カレヒ。漢名此ハゼ。漢名鰻アカ工。ヒ。漢名黃ア。ン。カウ。漢名琵琶魚。托夫々ノ形アリ又鱈ニテ海面ヲ飛ブモノアリトビノウヲ。漢名鰻魚名文コレナリ其他鯛スバキ。漢名マグロ。漢名金鱈。鱈等食用ニ供スベキモノ多シ但シフグ。河豚名ニハ毒アリ決シテ食フベカラズ。偕又魚類ハ其生肉ノ儘食フベキハ勿論ニテ之ヲ鹽漬ニスレバ久シク貯フベシ。鮭。鱒。サバ。魚名等ノ如シ。腸又ハ鰻ヲ鹽漬ニシタルモノヲ鹽辛。

魚類ハ生  
肉ヲ食フ  
ノ外如何  
ナル効用  
アリヤ

ト云フ、此中ニ、ウルクト云フモノアリ、コレハア  
エ。漢名ヨリ製ス、肉ヲ乾シテ、貯フモノアリ、干物  
ト云フ、アチ、漢名竹カレヒノ如シ、此他類多シ、夕  
ツクリハ、ヒシコ、漢名馬鯊ノ干物ニテ、カズノコ、漢名  
鰯ハ、ニシシ、漢名鱈ノ鰯ヲ、乾シタルモノナリ、其  
外ニ、名高キ食用品アリ、鰹魚節ト云フ、是ハ鰹魚  
ノ鮮肉ヲ蒸シテ乾シタルモノナリ、カラスミハ、  
鰹魚ナドノ鰯ヨリ製ス、魚油ヲ製スベキ者ハ、鰹  
等ニテ、其滓ハ、肥料ニ供スベシ。  
次ハ、爬行類ナルガ、中ニ就テ、蛙族ハ、體形ノ變遷

青蛙  
トノ區  
別ハ如何

アリ、從テ説話モ、亦多ケレバ、先ツ蛙族ノ話ヨリ  
始メントス、

第廿二 蛙族ノ話

青蛙ト、ヒキガヘル漢名トハ、同シ種類ナレド、亦  
異ナル所アリ、ヒキガヘルハ、赤黒クシテ、皮ニ疣  
アリ、疹ノ如シ、脊ニハ、斑點アリ、頭ノ下ハ、左右共  
ニ膨レテ、醜ク、性鈍シ、床下又ハ溝等ニ棲ミ、四足  
ニテ歩ム、其進ミ甚ダ遅シ、○蛙ハ、皮滑ニテ、色青  
キアリ、赤ミ帯タルアリ、頭ハ大ニテ尖リ、目ハ突  
出シ、口ハ頸マデ割レ、前足ハ短ク、後足ハ長ク、歩

蛙ノ形状  
等ヲ問フ

マズシテ飛躍シ、休ムニハ、後足ヲ三ツニ折ル、池沼田野又樹木ニ棲ム、故ニ水陸兩棲ノ名アリ、但シ魚ト違テ、水中ノ空氣ヲ呼吸セズ、水中ニ入ルモ、暫クスレバ、出デ、呼吸ス、其中ニモ、アマガヘル漢名ハ、水中ニ居ルコト、赤蛙ヨリモ久シ、夏日ハ、田野又ハ樹木ニ群リ、晝ノ炎熱ナル間ハ、木ノ葉ニ付着シ、或ハ孔内又ハ草ノ中ニ隠ル、雨降ラントスル時ハ、必ズ啼久、故ニ人蛙ノ聲ヲ聞ケバ、雨近シト云フ、雨降テ、小蟲出レバ、追テ之ヲ捕ル、○後足ニ膜アリ、水鳥ノ蹼ヒツカキ膜

雨蛤如  
何

蛙ハ何ヲ  
食フカ冬  
日ハ如何  
スルカ

ト、同ジ譯ニテ、水ヲ泳グニ都合ヨシ、蛙ハ、肉食動物ニテ、軟體動物、無血蟲、杯ヲ餌トス、秋ノ末ニナレバ、連レ立テ、沼池ノ底ニ、蟄伏睡眠シ、冬ニ至リ、水底ノ泥ト、共ニ凍ルトモ、決シテ凍エ死ナズ、安ヤト春ヲ待チ、暖クナレバ、卵ヲ産ム、一母ノ産ム所、六百ヨリ一千二百卵ハ、膠ノ穢ナル膜ヲ被リ、頓テ卵化ル時ハ、頭大クシテ、長ク、尾アルノミ、其姿ハ、杓子ニ似レバトテ、オトマシクシ漢名ト云フ、實ニ蛙トハ、思ハレズ、コレ蛙ノ蠟蠟ナリ、魚ノ様ニ、水中ニ棲テ、植物ヲ食ヒ、鰓有テ、水



中ノ酸素ヲ吸フ、左レド、  
 鰓ハ次第ニ消テ、肺ノ發  
 育スル同時ニ、後足ヲ生  
 ジテ、頭モ蛙ヲシクナリ、  
 次ニ前足ヲ生ズ、此時親  
 ト違フ所ハ、尾アルノミ、  
 故ニ知ラヌ人ハ、蛙ノ一  
 種類ナラント思ハシ、偕ソレヨリ、次第ニ成長シ  
 テ、肉ヲ食ヒ、尾ハ漸次短クナリ、遂ニハ全ク消テ、  
 並ノ蛙トナル、外貌ノ變遷ハ、圖ヲ見テ知ルベシ、



蛙ノ變遷  
ヲ開フ

蛙ハ卵ノ  
夥シキニ  
比シテ其  
増殖速ナ  
ラザルハ  
何故カ

變遷ノ中ニテ、殊ニ不思議ナルハ、呼吸器ニ在リ、  
 初メハ鰓ニテ、水中ノ酸素ヲ吸タルニ、其鰓ハ消  
 テ、肺ニテ陸上ノ空氣ヲ吸フ、植物ヲ食タルモノ  
 ガ、肉食スルモノ亦奇ナリ、偕又前ニ言タルガ如ク  
 ニ、夥シキ卵ガ、其數通りニ、成長スル時ハ、増殖速  
 ニテ、陸モ水モ、蛙ダラケニナル筈ナレド、左様ニ  
 往カヌハ、同類相食シ、魚類水鳥ノ、餌トモナリ、殊  
 ニ、蛇ノ大好物ニテ、狐、狼ナドモ、食ニ乏シキ時ハ、  
 又之ヲ食フニ因ル、蛙ノ數ノ、其卵ノ數ニ合ハヌ  
 ハ、コレニテ明ナリ、

第二十三 龜蛇等ノ話

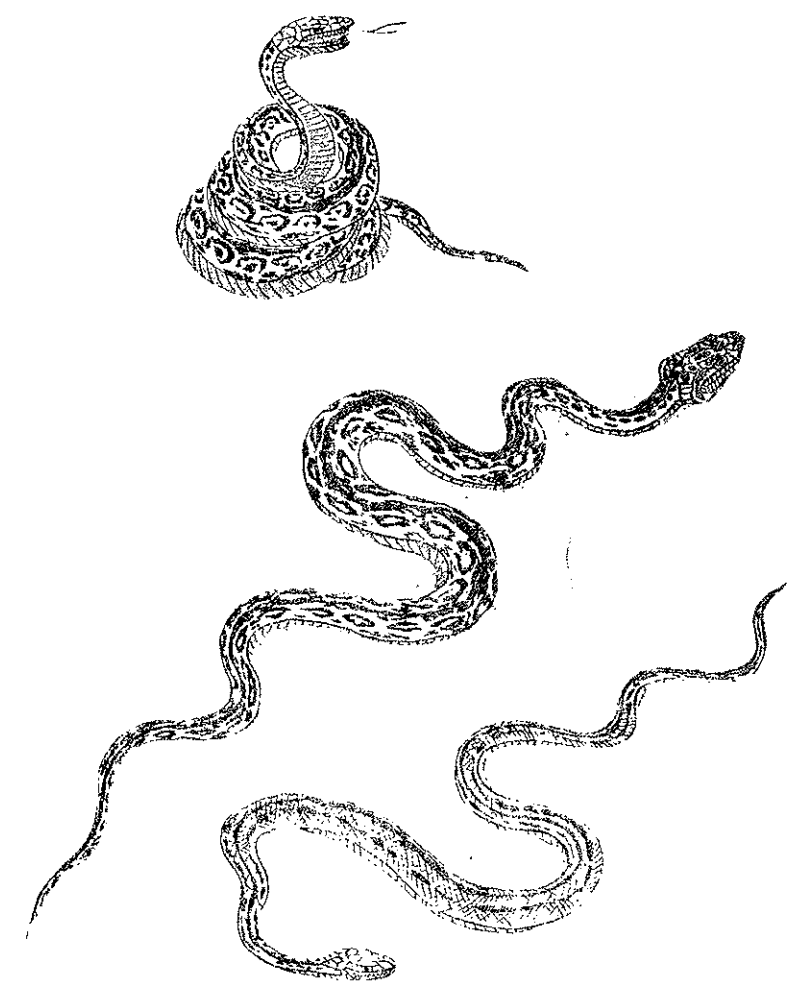
蛇ニハ足ナシ、歩ム様ハ、土蟲ニ善ク似タリ、コレ  
 爬行類ノ名アル譯柄ナリ、龜トカゲ漢名石龍子杯ハ、  
 足アレド、誠ニ短シ、歩ムトキ、體ハ、先ヅ地面ト觸  
 接ト言テ宜シ、歩ミノ遅キト、早キトハ、足ノ有無  
 ニハ因ラズ、左レバ、龜ハ誠ニ遅ク、蛇ハ早シトカ  
 ゲモ亦早シ、○蛇トカゲヲ拵レバ、冷キヲ覺シ、コ  
 レ其血ノ冷ナルニ由ル、爬行類ノミナラズ、今マ  
 デ話シタル動物ハ、皆人ノ體ヨリ冷シ、故ニ之ヲ  
 總稱シテ、冷動物ト云ヒ、又冷血動物ト云フ、但シ

爬行類ノ歩行ハ如何  
 冷動物ト云ハ何ヲ云フカ

爬行類ノ呼吸器ヲ問フ  
 舌ハ如何  
 齒ハ如何

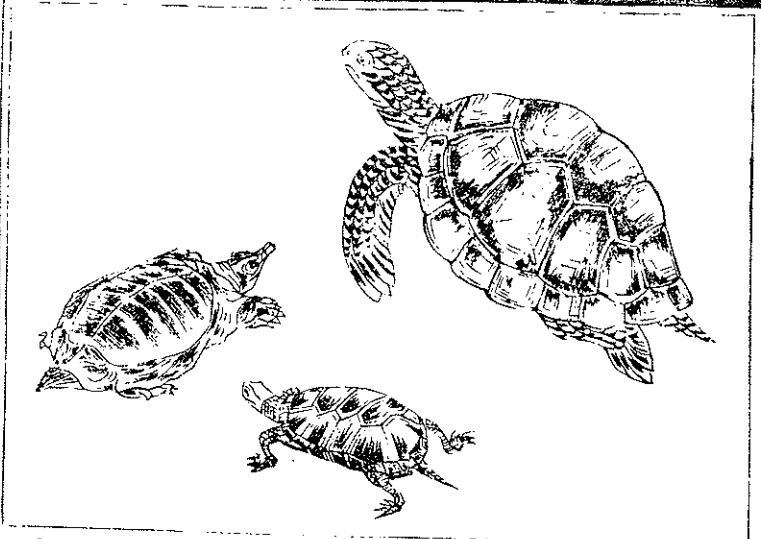
爬行類ハ、肺臟ニテ呼吸シ、心臓ハ三室ニ分ル、  
 蛇ノ舌ハ、中央ニツニ分ル、味感ト觸感トヲ兼帶  
 ス、其齒ハ銳クシテ、狀ハ鈎ノ如シ、物之ニ拘レバ、  
 脱落セズ、蟲ヲ捕ルニ、都合ヨシ、○性毒アルモノ  
 アリ、コレナキモノアリ、毒アルモノハ、眼ノ後ニ、  
 毒液ヲ分泌スル仕掛アリ、物ヲ噛ムバ、毒液ハ齒  
 ヨリ流れ出デ、疵口ニ入ル、ヤマカバ漢名赤棘蛇  
 ハ、好テ蛙ヲ食ヒ、アヲダイシヤウ漢名黄ハ人家  
 ニ入テ鼠ヲ捕ル、マムシ漢名蝮蛇ハ、原野ノ蔭所ニ棲  
 ミ、ハブ漢名飯匙倩ハ、沖繩縣ニ多シ、人ヲ噛ム、其毒劇

シク、ハ。グ。  
ノ毒ハ、殊  
ニ甚シ、為  
メニ死ル  
コト多シ、  
ヒ。バ。カ。リ。  
ヤ。マ。カ。バ。  
シ。ア。ダ。  
イ。シ。ヤ。ウ。  
ノ如キハ、



蛇、種類  
並、目、音  
毒、並、其、問  
フ

トカゲト  
ヤモリト  
ノ別、問  
フ



皆害アルモノニアラズエラ。グ。ウ。ナ。ギ。漢名ハ薩

摩ノ海中ニ棲ム、島人之ヲ食  
ス、又地方ニハ、マムシヲ食フ  
所アリ、  
トカゲハ、石垣杯ノ間ニ、棲ム  
コト多ク、ヤモリ漢名ハ、屋壁  
杯ニ多シ、皆蟲類ヲ食トス、  
モリ漢名ハ、蝶螺ハ、池沼杯ニ多シ、姿  
ハ、前ノニツノ者ニ似レド、蛙  
族ニテ、水陸兩棲ナリ、龜ハ、

鳥里斗賣



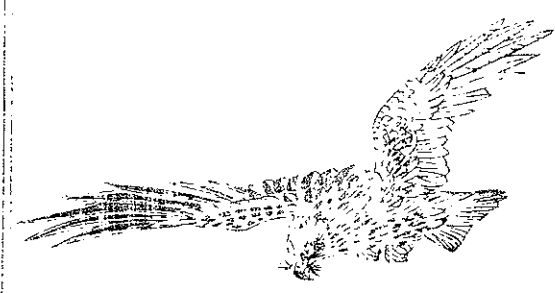
龜ノ種類  
並ニ其効  
用ヲ問フ

シガノ、漢名シヤウガクボウ、漢名皆食フベシ、左  
レド、スツボン、漢名ノ肉ヲ、最モ美味ナリトス、ヲ  
サガメ、漢名ハ油多シ、燈油ヲ製スルニ宜シ、

第二十四 鳥類ノ話

鶏ヲ抱ケバ、温ナラン、温血動物ナリ、鳥ハ、肺ニテ  
呼吸シ、又體ノ構造ニ、一種ノ機關有テ、空氣ヲ、體  
内ノ諸部ニ引キ込ミ、且ツ骨モ、亦肺ト相通ズ、故  
ニ空氣ヲ費スコト多ク、物質ヲ燃スコトモ多ク、  
從テ熱ヲ生ズルコト、亦多シ、體內ニ、温空氣ヲ多  
ク含ム、故ニ、體ハ輕クシテ、空中ヲ飛ビ易シ、胸ハ、

鳥類ハ何  
故ニ空中  
ヲ飛ビ得  
ルカ



船底ノ形ヲ成シ、皮ニハ羽アリ、兩側ニハ翼アリ、  
羽ハ中虚ニテ、深ク體內ニ入ル、鷺ペンヲ見テ、其  
中虚ナルコトヲ知ルベシ、故ニ翼モ尾モ、亦體ヲ  
輕クスル道理ナリ、翼ヲ打テバ、昇ル  
モ進ムモ、自由ニテ、既ニ空中ニ昇テ、若  
翼尾ヲ擴ゲバ、落下スルコトナシ、若  
シ下ラントスル時ハ、丸ク飛ビ廻ハ  
リ、或ハ筋違ニ行ク、其様ハ、紙ヲ擴ゲ  
テ、高キ所ヨリ落スニ似タリ、  
鶏ハ、誰モ善ク知ルモノニテ、頭ニ鶏

鳥類ノ足  
ハ如何  
何ヲカミ  
サゴノ  
云フ



類コレナリミサゴハ海魚ヲ捕テ食ヒ餘レバ之ヲ巢内ニ貯フミサゴ鮫ト稱スル者コレナリミ

シドリ漢名カモメ漢名  
鷓鴣ヲ見テ知ルベシ  
肉類ヲ食フモノハ足ニハ長キ指アリ強クシテ屈曲自由ナリ爪モ亦長クシテ物ヲ抓ミ又裂クニ都合ヨシ鷲鷹鷲ミサゴ漢名ノ

鶏ノ形状  
ヲ問フ

冠アリ朱ヲ塗ルガ如ク尾モ亦美シ兩足ニ指四本ヅ、距一本ツ有テ距ハ後ニ向クコレヲ以テ敵ヲ蹴ル其鬪フ様ハ劇シキモノナリ(鳥類ノ指ヲ見ルニ三本ハ前ニ向ヒ一本ハ後ニ向ス左レド木ニ攀ヂ登ル鳥ハ二本宛前後ニ向クホトギス漢名キツキ木鳥ヲ見テ知ルベシ水ヲ泳グ鳥ハ足ニ蹠膜アリカモ漢名ヲ



蹠膜アリカモ漢名ヲ

鳥ノ嘴ハ如何

ミヅク。漢名フクロフ。漢名ハ夜鳥ナリ。  
鶏ノ嘴ハ短クシテ尖リ、且ツ強シカモ、アヒル。漢  
家鴨ナドノ嘴ハ平ニテ、鶴鷺ノ嘴ハ長クシテ銳シ。  
○鶏ノ種類甚ダ多キハ、誰モ知ル所ナリ、牡鶏ハ  
早朝ヨリ鳴ク、俗ニ之ヲ報時ト云フ、左レド、其聲  
ハ、人ヲ慰ムルモノニハアラズ。○鶏ノ雛ヲ育ル  
ヲ見ルニ、牝鶏先ヅ卵ヲ温メ、既ニ雛化レバ、牝牡  
之ヲ養ミ、雛自ラ餌ヲ索ルニ至ルマデ、少シモ怠  
ルコトナシ、其慈愛ノ深切ナルハ、人ノ善ク知ル  
所ナリ、他ノ鳥モ、春ニナレバ、多クハ藁草、小枝、羽

鳥ハ如何ニシテ其雛ヲ育ツルカ

毛杯ヲ集メテ、巧ニ巢ヲ作り、卵ヲ其内ニ産ミ、之  
ヲ雛化シ、之ヲ養ム等ハ、鶏ニ違フコトナシ、但シ  
アヒルハ、自ラ卵ヲ雛化スコトナシ、故ニ人之ヲ  
取テ、鶏ニ雛化サシム、又ホトギスハ、卵ヲ鶯ノ  
巢中ニ産ミ、鶯代テ之ヲ雛化ス、○凡ソ生トシ生  
ケルモノ、子ヲ思ハザルハナシ、况ヤ人ニ於テヲ  
ヤ、コレヲ思ヒ彼レヲ考フレバ、親ノ恩ハ、片時モ  
忘ルベカラズ、○又慰ミニ、鳥ノ巢ヲ取り杯スル  
ハ、實ニ宜シカラズ、慎ミテモ、尚慎ムベキコトナ  
リ、



鷄<sup>○</sup>アヒルヲ飼フハ其肉ヲ食ヒ其卵ヲ取ランガ  
 爲メナリ其他鶴雁鷺カモ鳩<sup>○</sup>シギ<sup>○</sup>漢名雀等食フ  
 ベキモノ多シ鳥ハ食料ニ供スルノミナラズ更  
 ニ他ノ用ヲナスモノアリ鷄鳩ハ肥料ヲ供シウ  
 漢名ノ善ク馴養セルモノハ香魚ヲ捕リ鷹ハ鳥  
 鷓鴣ヲ捕ル以テ水陸ノ遊獵ニ用フベシ且ツ近時歐  
 羅巴ニテハ鳩ノ類ニテ傳信鳩ト稱スルモノヲ  
 通信ノ用ニ供スト云フ又人ノ耳目ヲ慰ムルモ  
 ノアリヲシド<sup>○</sup>漢名文鳥鳩ノ類ハ羽毛誠ニ美  
 ク鶯雲雀鷓鴣杯ハ其聲愛ラシ山雀ヲ馴養スレバ

鳥類  
附ノ問

種々ノ藝ヲ覺フ唯鳥爲ニ至テハ用無キ様ナレ  
 ドコレモ亦腐敗物ヲ銜ミ去レバ市街ニテハ掃  
 除ノ大任ヲ手傳フト云フモヨロシ

小學理科讀本卷之一下終

八里井賣大

第一卷

五

福島縣立第一高等小學校  
小學校部布 同第一卷  
第一卷  
第一卷

福島高等小學校生徒甲二年期  
藏書

明治三十一年六月十二日印刷  
同 年七月 日修正出版 定價金拾五錢  
同 二十年五月六 日版權免許

編輯者 廣島縣士族 佐澤太郎

發行者 茨城縣士族 關谷末松

印刷者 東京府平 江川八左衛門

賣捌所 文榮堂

大賣捌所 星文館

東京葛飾區柴又  
東京神田區鐵道前  
福岡縣福岡區下名島町